

- 問1 長州藩は当初、外国勢力を排除しようとする攘夷運動の急先鋒でしたが、四国艦隊による下関砲台占領という事態を経験したことで、その方針を大きく転換させることになりました。この出来事のあとに、長州藩が倒幕を実現するためにとった行動の説明として、最も適切なものはどれですか。 (2020年 大阪公立入試 類似)
1. 攘夷を継続するため、朝廷に対して江戸幕府の役職を辞任するよう要求した。
 2. 幕府を支援して公議政体を作り上げるため、会津藩と同盟を結んだ。
 3. 対立していた薩摩藩と密かに手を結び、武力によって幕府を倒す準備を進めた。
 4. 外国の軍事力を借りるため、アメリカと新たな不平等条約を締結した。
- 問2 1853年、アメリカの使節が4隻の軍艦を率いて浦賀（神奈川県）に来航し、江戸幕府に対して開国を要求しました。このとき、当時の人々が「泰平の眠りをさます上喜撰（じょうきせん） たった四杯で夜も寝られず」という狂歌に詠んだ、来航した人物と船の通称の組み合わせとして正しいものを選びなさい。 (2023年 大分県公立入試 類似)
1. ペリーと黒船
 2. ハリスと黒船
 3. ペリーと印旛沼
 4. ハリスと蒸気車
- 問3 1854年に江戸幕府がアメリカとの間で結んだ日米和親条約において、アメリカ船に対して薪水や食料などの物資を補給するために開港することを決めた2つの港の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2020年 山口公立入試 類似)
1. 下田・函館
 2. 長崎・横浜
 3. 新潟・兵庫
 4. 浦賀・神戸
- 問4 開国後の貿易において、日本に大量に輸入された安価な工業製品によって、当時の日本の国内産業が大きな打撃を受けた事例として正しいものはどれですか。 (2017年 徳島公立入試 類似)
1. イギリスなどから安価な綿織物が輸入され、日本の伝統的な綿織物業が衰退した。
 2. 清（中国）から安価な生糸が輸入され、日本の養蚕業が壊滅的な被害を受けた。
 3. オランダから安価な鉄砲が輸入され、国内の刀鍛冶が職を失った。
 4. アメリカから安価な麦が輸入され、日本の米作農家が転作を余儀なくされた。
- 問5 19世紀、イギリスは清との貿易における銀の流出と赤字を解消するため、インドを含めた「三角貿易」の仕組みを構築しました。この貿易において、インドから清へ輸出された品物はどれですか。 (2021年 長野県公立入試 類似)
1. 茶
 2. 綿織物
 3. アヘン
 4. 香辛料
- 問6 1867年、江戸幕府の第15代将軍である徳川慶喜が、政権を朝廷に返上し、約260年続いた江戸幕府が事実上終わりを迎えた出来事を何と称しますか。 (2026年 千葉公立入試 類似)
1. 大政奉還
 2. 版籍奉還
 3. 王政復古の大号令
 4. 廃藩置県
- 問7 大老の井伊直弼が、天皇の許可（勅許）を得ないまま日米修好通商条約を結んだことや、将軍の跡継ぎ問題に対して反対意見を持つ大名や公家、志士たちを厳しく処罰した弾圧事件を何と称しますか。 (2017年 岐阜公立入試 類似)
1. 安政の大獄
 2. 桜田門外の変
 3. 生麦事件
 4. 禁門の変
- 問8 幕末にアメリカやイギリスなどとの貿易が本格化した際、輸出額が非常に多かった品目と、その貿易が国内経済に与えた影響の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2020年 手塚公立入試 類似)
1. 生糸が主要な輸出品となり、国内では品不足による物価の上昇を招いた。
 2. 綿織物が主要な輸出品となり、国内の綿作農家が大きな利益を得た。
 3. 武器や軍艦が主要な輸入品となり、国内の武士階級の経済力が向上した。
 4. 米が主要な輸出品となり、地主が富を蓄えて地方の近代化が急速に進んだ。
- 問9 イギリスで始まった産業革命では、新しい動力源の普及によって社会の仕組みが劇的に変化しました。この変革の背景にある動きと、その動力を備えたペリーの黒船が当時の日本に与えた歴史的背景の説明として、最も適切なものを選びなさい。 (2023年 滋賀公立入試 類似)
1. 石炭を燃料とする蒸気機関が実用化されたことで、天候や自然環境に左右されない大規模な工業生産や交通機関の発達が可能になった。
 2. 石油を燃料とするディーゼルエンジンが開発されたことで、大型の鉄鋼船による世界一周の定期航路が確立され、貿易が自由化された。
 3. 電気を動力源とするモーターが発明されたことで、工場に電力が供給され、従来の石炭利用による大気汚染問題が完全に解決された。
 4. 風力を利用する高度な帆走技術が確立されたことで、イギリスは世界中の海を制し、日本に対しても開国を迫る軍事力を保持した。
- 問10 19世紀半ばのアメリカ合衆国では、北部と南部の間で対立が深まり、南北戦争が勃発しました。この対立のうち、当時の「南部」の主張や状況を正しく説明しているものはどれですか。 (2020年 三重公立入試 類似)
1. 自国の工業製品を外国の競争から守るため、輸入品に関税をかける保護貿易を求めた。
 2. 綿花の輸出を促進し、イギリスなどから安価な工業製品を輸入するために自由貿易を求めた。
 3. 人道的立場や工業における労働力確保の観点から、奴隷制の廃止を強く主張した。
 4. 連邦政府の権限を強めることで、国家の一体性を維持しようとする中央集権的な考えを持っていた。
- 問11 井伊直弼が結んだ日米修好通商条約は、日本にとって不利な内容を含む不平等条約であったとされます。その不平等な内容の説明として正しいものを選んでください。 (2026年 京都府公立入試 類似)
1. 日本に領事裁判権（治外法権）がなく、アメリカにのみ認められていたこと
 2. 日本に領事裁判権（治外法権）を認めさせ、アメリカの関税自主権を奪ったこと
 3. アメリカに領事裁判権（治外法権）を認め、日本に関税自主権がなかったこと
 4. アメリカに領事裁判権（治外法権）はなく、日本にのみ関税自主権があったこと
- 問12 江戸幕府が日米修好通商条約で開港を約束した「兵庫」について、幕府は実際には兵庫そのものではなく、隣接する特定の場所を開港しました。その場所は、当時は人家がまばらな村でしたが、開港後は急速に発展し、現在の日本を代表する国際貿易港となりました。この場所の名称として正しいものを選びなさい。 (2022年 栃木県公立入試 類似)
1. 神戸
 2. 堺
 3. 尾道
 4. 門司
- 問13 19世紀前半、イギリスは清から茶や絹を大量に輸入する一方で、清への銀の流出を食い止めるために、植民地であったインドからある品物を清へ密輸させる仕組みを整えました。この貿易構造において、インドから清へと送られた品物は次のうちどれですか。 (2024年 大分県公立入試 類似)
1. アヘン
 2. 綿織物
 3. 香辛料
 4. 鉄鉱石

答え合わせ・解説

問1	答え 3 対立していた薩摩藩と密かに手を結び、武力によって幕府を倒す準備を進めた。	四国艦隊の下関砲台占領により、長州藩は単独での攘夷が不可能であることを痛感しました。同様にイギリスとの戦争（薩英戦争）を経験していた薩摩藩も、海外の進んだ技術を取り入れる必要性を感じていました。両藩はそれまで対立関係にありましたが、土佐藩出身の坂本龍馬や中岡慎太郎の仲介によって、1866年に薩長同盟を締結しました。これにより、倒幕に向けた強力な軍事的・政治的基盤が確立されることとなりました。
問2	答え 1 ペリーと黒船	アメリカ東インド艦隊司令長官のペリーは、巨大な大砲を積み、黒く塗られた蒸気船（黒船）を率いて来航しました。狂歌にある「上喜撰」は高級な茶の銘柄ですが、同じ読み「蒸気船」とかけており、わずか4隻の来航で幕府や社会が大混乱に陥った様子を風刺しています。ハリスは数年後に日米修好通商条約を締結するために来日した人物であり、混同しないよう注意が必要です。
問3	答え 1 下田・函館	この条約では、伊豆の下田（静岡県）と蝦夷地の函館（北海道）の2港を開港することが定められました。これらの港は主に遭難船の救助や物資の補給を目的としており、横浜や長崎などが本格的な貿易港として開かれるのは、後の日米修好通商条約の段階です。
問4	答え 1 イギリスなどから安価な綿織物が輸入され、日本の伝統的な綿織物業が衰退した。	幕末の貿易では、日本からは生糸や茶が輸出される一方、イギリスなどの産業革命を経た諸外国からは、機械で生産された安価で高品質な綿織物や綿糸が大量に輸入されました。これにより、日本国内の手工業による綿織物業は価格競争に敗れ、大きな打撃を受けることとなりました。
問5	答え 3 アヘン	イギリスは自国の赤字を解消するため、植民地であるインドで「アヘン」を栽培させ、これを清へ輸出しました。アヘンの代金として清から銀を回収し、その銀を茶の買い付け代金に充てることで、イギリスは貿易収支を好転させようとした。
問6	答え 1 大政奉還	幕末の動乱の中、徳川慶喜が政権を朝廷に返すことで、倒幕派による武力討伐の口実をなくそうとした政治的決断です。これにより鎌倉幕府以来続いてきた武家政治が終了しました。似た用語の「版籍奉還」は明治維新後に土地と人民を天皇に返したことを指すため、区別が必要です。
問7	答え 1 安政の大獄	井伊直弼は幕府の権威を立て直すために、反対派を徹底的に排除する強硬策をとりました。この弾圧によって吉田松陰らが処刑されましたが、幕府への反感はかえって強まり、のちに井伊自身が暗殺される桜田門外の変へとつながりました。歴史の大きな転換点となった重要な政治的イベントです。
問8	答え 1 生糸が主要な輸出品となり、国内では品不足による物価の上昇を招いた。	幕末の貿易において、生糸は茶と並ぶ最大の輸出品でした。海外での需要が高まったことで、多くの生糸が輸出に回されましたが、その結果として国内向けの流通量が減少し、価格が急騰しました。こうした物価の上昇や経済の混乱は、当時の幕府に対する人々の不満を強める要因の一つとなりました。なお、米騒動や地主による買い占めは、より後の時代の出来事や異なる背景によるものです。
問9	答え 1 石炭を燃料とする蒸気機関が実用化されたことで、天候や自然環境に左右されない大規模な工業生産や交通機関の発達が可能になった。	産業革命の最大の特徴は、人力や水力・風力といった自然の力から、蒸気機関という機械的な力へと動力源が転換した点にあります。これにより、工場での大量生産や蒸気船・蒸気機関車による高速・大量輸送が実現しました。ペリーが来航した際、日本側が作成した記録には「風を待たずに進む巨大な船」への驚きが記されており、この技術的な背景が日本に開国を決断させる一つの要因となりました。
問10	答え 2 綿花の輸出を促進し、イギリスなどから安価な工業製品を輸入するために自由貿易を求めた。	当時のアメリカ南部は広大な農場での綿花栽培を主産業としており、主な輸出先であるイギリスとの取引を円滑にするため、関税のない自由貿易を求めています。これに対し、工業化を進めていた北部は、安価なイギリス製品から国内産業を守るために保護貿易を主張しており、経済政策をめぐる対立が南北戦争の大きな要因の一つとなりました。
問11	答え 3 アメリカに領事裁判権（治外法権）を認め、日本に関税自主権がなかったこと	この条約では、日本国内でアメリカ人が罪を犯してもアメリカの領事が裁く「領事裁判権」を認め、さらに日本が輸入品に対して自由に税率を決める権利である「関税自主権」が認められていませんでした。これらの条項を改正することは、明治政府の外交における最優先課題となりました。
問12	答え 1 神戸	日米修好通商条約で指定された「兵庫」という地名は、現在の神戸市兵庫区周辺を指していましたが、幕府は住民との衝突を避けるために、当時はまだ人家の少なかった神戸村（現在の神戸市中央区周辺）を実際の開港地として選びました。これが現在の神戸港の始まりです。
問13	答え 1 アヘン	イギリスは清との貿易において、茶や絹の代金として支払う銀が不足したため、インドで栽培させたアヘンを清に密輸し、その対価として銀を回収する三角貿易を行いました。このアヘンの流入は清国内に健康被害と経済的な混乱をもたらし、のちの武力衝突の直接的な原因となりました。